

ホーム名：グループホーム第2東神田の里 けやき

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員間で考えた標語をご家族や外来者にも伝わるように誰もが見える場所に貼りだし、職員一人一人がその方針を意識共有し、実践に繋げている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	カラオケ大会等、地域の行事に積極的に参加し、入居者との理解を深め、地域の一員としての暮らしが継続できるよう交流を行っている。また、自治会や事業所とも年間を通しての行事を開示し、交流を深めている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議で自治会役員の方に参加していただき、研修内容の報告や、入居者の状態、ケアの方法を認知していただけるよう認知症の方の理解を深めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	自治会の会長、副会長、地域包括支援センターの方々に出席していただき、入居者には、できる限り参加していただいている。意見や要望を伺い情報を公開し、ご家族の参加が難しい状況ですが、参加者と話し合い、サービス向上に繋がるように取		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら協力関係を築くよう取り組んでいる。	市町村担当者へは、運営推進会議の議事録を届けている。また、会議の出席をお願いしているが、都合上なかなか参加していただけていないが、地域包括センターと連携を取れるよう体制を整えている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束しないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会での会議や研修で身体拘束となる具体的な行為に加え、スピーチロックによる一方的な強い口調による拘束があることを説明し、入居者の行動に制限することが無いように努めている。日中は車椅子の方でもフロアを自由に自走していただき、少しでも体を動かす機会を増やしている。		
7		○虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所ないでの虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	外部研修等で虐待についての研修を行い理解を深め、意識の向上に努めている。また、入浴時等の介助時には、ボディチェックに注意を払い、状態に異変がないか職員間で情報共有を行っている。		

8	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>制度を理解できていない部分もあり、年間研修を通じて制度に触れ、対象となる入居者に対し、後見人制度が活用できるよう関係者との連携をはかり、支援しているように努めている。</p>		
9	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約前に見学や面談を行い、不安や質問があれば話し合い、十分に納得されるまで説明をさせて頂いている。締結後も必要に応じて、再度十分に説明を行うことで理解・納得して頂いている。</p>		
10	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ユニット入口には意見箱を設置させて頂きご意見を聞かせて頂く様にしている。また、来訪が少ないご家族にも入居者生活情報を郵送させて頂き、生活状況をお知らせしています。</p>		
11	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、それらを反映させている</p>	<p>月に一度のユニット会議で職員個々の意見を集約し、書面で記録して、リーダー会議で報告相談し、結果を反映させている。</p>		
12	<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>法人内の職員が目標をもって働けるような環境整備に努めている。職員に資格が取れるように研修への参加を促しスキルアップができるように努めている。</p>		
13	<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>年間研修計画で受講し、働きながらスキルアップができる場を設けている。また、外部研修にも参加できるように調整を行っている。</p>		
14	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>法人内の勉強会で、施設間の交流をはかり、勉強を通じて情報交換を行い、サービスの向上に取り組んでいる。</p>		

## II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

15	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居前に来所していただき、ホームの雰囲気を感じていただいた後に初回面談を行い、不安なことや要望に耳を傾け、ご本人が納得できるよう十分に説明を行っている。</p>		
16	<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居前に来所していただき、ホームの雰囲気を感じていただいた後に初回面談を行い、ご家族が不安に思う事や要望を聞かせて頂き、ご本人やご家族が納得できるよう十分に説明を行っている。</p>		
17	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>入居前後に相談を受けた際、今後どのような暮らしをしていけばよいか情報を細かく聞くことで、必要なサービスを見極めて提案を行っている。</p>		
18	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>入居者ができることは、手伝っていただき好きなことは自由に取り組んでいただいている。毎月2回の手作り食では、調理の仕方を教えていただく等人生の先輩として尊重し、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>		
19	<p>○本人と共に過ごし支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>病院の付き添いや散歩等ご家族と定期的な外出を行うことで互いの絆を深めている。夏祭りや敬老会等の行事にも参加していただき共に楽しんでいただいたり、面会にもいつでも気軽に来所していただき、ご本人とご家族の絆を大切にしながら共にご本人を支えていけるように努めている</p>		
20	<p>○馴染みの人や場と関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>知人や友人が来訪された時は笑顔で明るく気軽に遊びに来ていただけるような雰囲気づくりをしている。又、いつでも馴染みの美容院や外食店へ出かけられるように、普段からご本人の意思や習慣を尊重し、これまで大切にしてきた関係が途切れない</p>		
21	<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>レクリエーションや手作り食では入居者同士が関わり合えるように、利用者の性格や状態を考慮し座席を配置している。その日に孤立されている方がいる場合は、声掛け傾聴を行い、その方が過ごしやすい環境づくりに努めている。</p>		
22	<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>契約が終了した後も必要に応じて支援できるように記録を保管し、いつでも開示できるようにしている。また、相談があればその都度お話を聞かせて頂けるようにしている。</p>		

### Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	<p>○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>介護計画書をもとに日々の生活の中からご本人の情報を得ている。面会時にご家族へご本人の希望や意向を伝え、その思いを主が意思決定できるように支援し、困難な方には、筆談等を用い、ご本人の思いを選択できる</p>		
24		<p>○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める</p>	<p>生活歴や生活スタイルをご本人やご家族とのコミュニケーションから把握し、定期的に利用者カードの更新に努め、アセスメントシートの記録へ反映できるようにしている。</p>	/	/
25		<p>○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>一人ひとりの状態に変化がある場合は、一括管理シートに記入し、申し送りノート等で内容を確認し、カンファレンス等で状態を把握するように努めている</p>	/	/
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画書を3ヶ月に一度モニタリング、アセスメントを行い見直しをしているが、何か問題があれば、その都度、利用者が望む生活が送れるように各担当者が状態を観察し、気付いた課題を考え分析を行い、ご家族や関係者と話し合い、その都度現状に即した介護計画書を作成している。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>気付いたことは、個人記録や申し送りノートに記入し、職員間で情報の共有の実践を図っている。日々の様子や実践からのニーズや変化に即応し、介護計画書の見直しに活かしている。</p>	/	/
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとられない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>洗髪用品、嗜好品等を本人やご家族から伺い、本人やご家族が購入困難な場合は、職員が代わって購入させていただける柔軟な支援やサービスの提供を行っている。</p>	/	/
29		<p>○地域資源との協働  一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>ボランティアを活用できるように、社会福祉協議会への申し込みを行っているが、ボランティアの参加申し込みはない。運営推進会議に自治会の方々を通じて、近くの小学校や自治会の行事に参加できるように支援を行っている。</p>	/	/
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断  受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居相談時にご本人やご家族にかかりつけ医を確認させていただき、できる限り受診の支援を行っています。</p>		

31	<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している</p>	<p>括管理シート等の記録をもとに情報を訪問看護師へ伝達を行い、法人母体である寝屋川南病院と連携がとれるよう必要に応じた医療支援を行っている。又、夜間はオンコールを導入し、24時間いつでも適切な医療支援ができる体制を整えている。</p>		
32	<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>利用者が入院した際は、介護サマリーで情報提供を行い、入院中に面会に行き主の状態を確認した後、ご家族や病院関係者等に状況を聞き取り、回復状態に応じて1日でも早く退院できるように努めている。</p>		
33	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化や終末期はサービスの変更を行い、事業所が今できることを十分説明をした上で、関係者ができるだけ利用者やご家族の希望に添えるよう考慮し、方針の決定を行い、支援できるように取り組んでいる。</p>		
34	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時等については、マニュアルを作成し、スムーズに対応ができるようにしている。また、法人内部研修に参加して研修内容をユニット会議等で情報の共有を行い実践力を身に付けている。</p>		
35	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>運営推進会議で災害対策を取り上げ地域と連携が取れるよう話し合いを行っている。年に2回消防訓練を行い、火災の訓練は前々から行っているが、今後は水害時等に備えた避難訓練ができるよう地域との協力体制を築いている。</p>		

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	<p>14</p> <p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>ユニットの方針に基づき入居者一人ひとりを人生の先輩として、敬意をもち接している。不適切な対応と感じた時は、ユニット会議等で課題として取り上げ、ケアの向上に努めている。</p>		
37	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>家事手伝いをしていただいているが、決して無理強いせず、ご本人が取り組む意思がある場合に働きかけている。日々、利用者の希望に添えるよう自己決定ができるような環境づくりに努</p>		
38	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一人ひとりのペースに合わせた支援を行って、趣味や夜間でも自由にテレビを観て頂き職員の都合を優先しないように心掛け、ご本人の希望に沿ったケアができるような環境づくりを実施している。</p>		
39	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している</p>	<p>利用者個人の整容品を起床時や入浴時に使用していただいたり、定期的に訪問理容を利用していただき、その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。</p>		
40	<p>15</p> <p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>月に2回の予定で手作り食を行い、できるだけ利用者の意向を取り入れ、仕込みや盛り付け、後片付け等出来る範囲で利用者と共に行っている。又、節分等の行事の日は、恵方巻も一緒に取り組んでいただき楽しんでいる。</p>		
41	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、集会に応じた支援をしている</p>	<p>普段は業者の栄養士による献立を提供させていただいて、水分量や食事摂取量は水分排泄チェック表とバイタルチェック表に記録し管理している。</p>		
42	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>自己にて手入れが可能な方は見守りを行い介助が必要な方は声掛けをしながら利用者のペースに合わせた方法で取り組んでいる。定期的に訪問歯科の受診で口腔内の清潔保持に努めてい</p>		
43	<p>16</p> <p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>水分排泄チェック表を利用し、入居者の排泄パターンを把握し、できる限りトイレでの排泄ができるように声掛け誘導を行い本人の自立度に合わせた支援を実践している。又、声掛けの仕方にも配慮している。</p>		
44	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>利用者が好んで飲んでいただけるものを提供し、水分不足にならないように努めている。又、毎日体操を行い、腸内運動を活発にさせることでガス溜まりで便秘にならないよう働きかけ予防に繋げている。</p>		
45	<p>17</p> <p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>利用者の希望に応じた曜日や時間の入浴はできていないが、声掛けをしながら楽しい時間を提供している。拒否がある方に関しては、無理強いをせず、気分の良い日に入っただき、状態に合わせてシャワーチェア等の福祉用具を利用して入浴し</p>		

46	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>できる限りご本人の意向に添えるような支援を実践している。日中休みの方はベッドで休んでいただき就寝の遅い方は、フロアや居室で休みたときに安心して眠れるよう支援している</p>		
47	<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や要領について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>服薬管理は職員が行い、体調に変化がある場合は見逃さないように努め、一括管理シートに記入して主治医や訪問看護に報告を行い服薬の支援と状態の変化の確認</p>		
48	<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>入居者が張り合いをもって生活をしていただけるように、編み物や塗り絵等、得意なことに何時でも何処でも気分転換をしていただける場を設けている。又、洗濯もの整理をしていただく等、個々の役割をもった生活ができるよう支援している</p>		
49	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している</p>	<p>天候の良い日は職員と散歩や嗜好品等の買い物に出かけたり、面会時にはご家族と散歩に行かれたりしている。又、自治会の行事参加や、外食・ライブ等に出かけて頂けるよう支援している。</p>		
50	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご家族からの依頼でご本人がお金を持つことは紛失の危険性があるためホームで管理をしている。お小遣いとして預りし、本人と職員と一緒に買い物へ行き、本人が行動できない場合は、職員が買物の代行をし、支援している</p>		
51	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご家族といつでも話ができるよう施設の電話を利用して頂き、安心して頂ける環境を整えている。例年、暑中見舞いや年賀状で、季節のご挨拶をして頂いている</p>		
52	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共有空間では、遮光カーテン等で光の調整を行っている。難聴の方へは、テレビに字幕を映るように対応し、気分転換が出来るようにソファの設置も行っている。また、季節や行事毎に職員と一緒に飾り付けたり、利用者家族からいただいたお花を活ける等、四季を感じられる心地よい空間づくりに努めている。</p>		
53	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>手作り食やちぎり絵等入居者同士が交流できるよう席の配置を考え、ソファなどを置いて各々が好きな時に利用していただけるように工夫し、季節に応じて模様替えもしながら気分転換をしていただいている。</p>		
54	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には自宅で使用していた物などを設置している。又、カレンダー加湿器、温度湿度計を置き、寛いだ空間で読書やテレビを利用していただき、入居者が自由に過ごし、自分の居場所だと感じられる居心地の良い空間ができるよう工夫をしている。</p>		
55	<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>フロア内には、手摺を設置して、安全で自立した移動ができるようにしている。又、トイレやお風呂には大きな文字で表示し、食事の献立はボードにメニューを大きな文字で書く等、利用者が目でみて認識できるように工夫している。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者として ②利用者の3分の2くらいと ③利用者の3分の1くらいと ④ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどいない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くない
66	職員は活き活きと働いている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員からみて利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族が ②家族の3分の2くらいが ③家族の3分の1くらいが ④ほとんどできていない